

# 「論理的思考力を育む、ミライシード・オクリンクを活用した振り返り活動」(数学科)

## 1 単元名 「円の性質」

## 2 対 象 第3学年

## 3 本時の指導

(1) 目標 円周角の定理を用いて、作図問題を作成したり解決したりすることができる。

(2) 展開

| 時間(分) | 学習活動                  | 指導上の留意点                                 | 学習活動における具体的評価規準        | 評価方法 |
|-------|-----------------------|-----------------------------------------|------------------------|------|
| 5     | 1 前時の復習をし、本時の目標を確認する。 | ○目標を明確に示すことで、本時の学習内容にイメージを持たせる。         |                        |      |
| 20    | 2 グループで、作図問題を作成する。    | ○身近な題材を扱うことで、意欲の向上を図る。                  | ・円周角と中心角の関係を生かそうとしている。 | 観察   |
| 10    | 3 他のグループが作成した問題を解く。   | ○グループごとで解かせることで、自力解決が困難な生徒の理解を促す。       |                        |      |
| 10    | 4 作成した問題を解説する。        | ○問題作成の際に、解説の流れまで確認させておくことで、解説の見通しを持たせる。 |                        |      |
| 5     | 5 本時のまとめをする。          | ○振り返りシートを用いることで、まとめを次時の学習につなげる。         |                        |      |

(3) 評価及び指導の例

|                             |                                                          |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------|
| 「十分満足できる」と判断される状況           | ・円周角と中心角の関係について学んだ知識から、作図問題に活用する知識を選択、発案し、積極的に生かそうとしている。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | ・円周角と中心角の関係から、どのような作図ができるかを具体的に助言する。                     |

## <成果と課題>

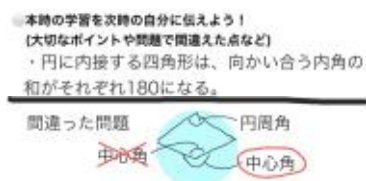
### 【成果】

- ・前時のまとめの中からいくつかを授業の初めに紹介することで、自分も紹介されたいという気持ちから意欲が向上し、よく考えて、まとめをする生徒が増えた。
- ・失敗したことを言語化することで、似た問題を解く際に注意して解く意識が高まった。
- ・自らの考えを伝える際に、大切となる言葉を考え、筋道立てて説明する力が向上した。

### 【課題】

- ・振り返りの作成が習慣化するまでは作成に時間がかかってしまうので、作成に対しての手立てが必要である。

#### 振りの例①



#### 振り返りの例②



#### 振り返りの共有

